

⑦ どっからければええんだべさ

さてある日、畠山さんに誘われて、春田さんはラグビー観戦。

畠山さんの長男二郎が所属する、県立大高工業高校ラグビー部の試合だった。

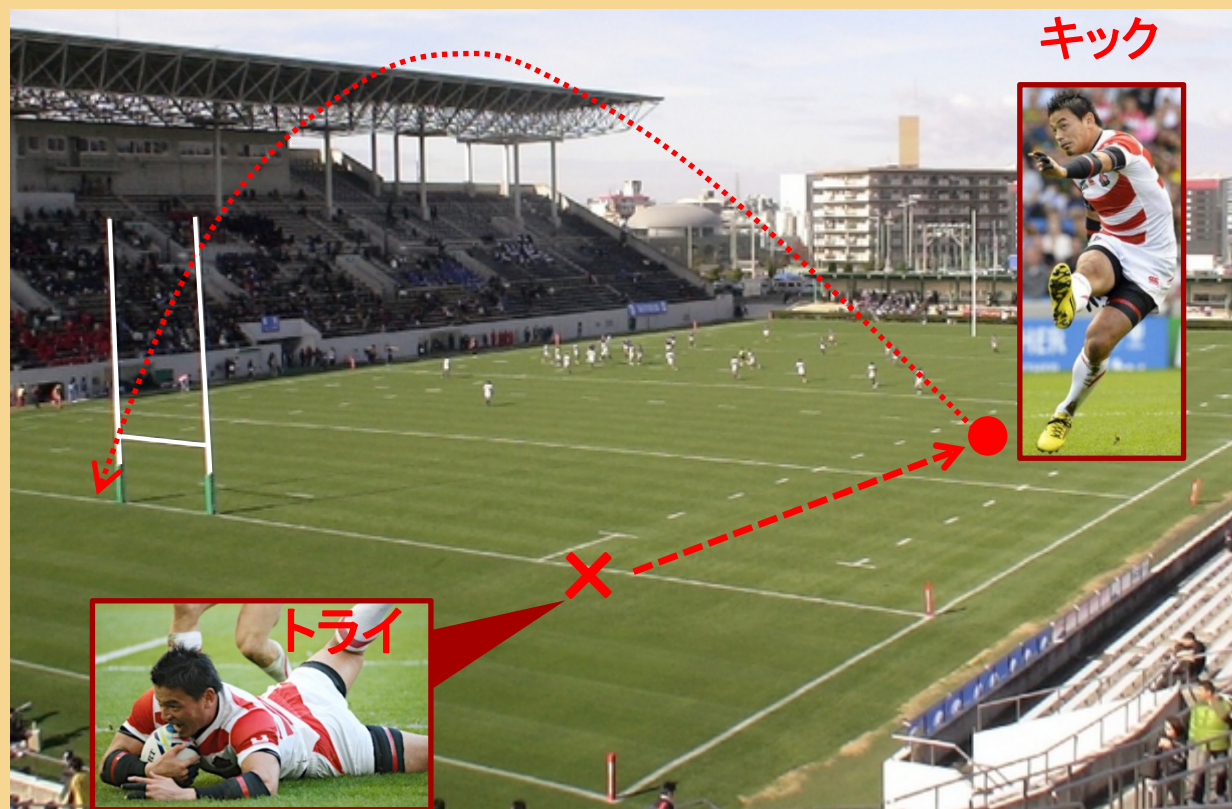
前半をリードされてむかえたハーフタイム。春田さんはスタンドオフをつとめる二郎から相談を受けた。

「プレイスキックが全然決まらねえ。どの辺にボールを置いてければ、一番入りやすいんだべさ？」



さてここでルール解説だあ。

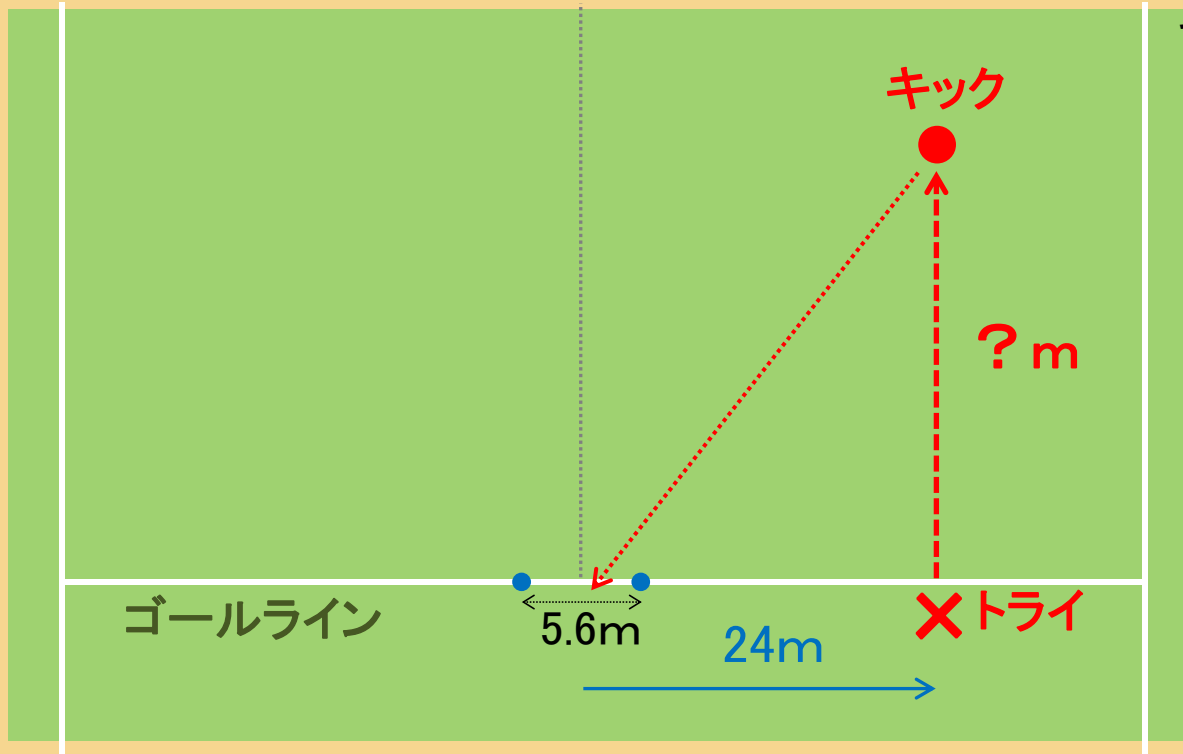
ラグビーでトライを決めたチームは、トライ地点からまっすぐ下がってボールをおいてキックし、2本のゴールポストの間を通せば2点もらえるんだあ。



ゴールポストの中間点から24m左
にトライが決まったとする。

二郎はゴールラインから何m下がっ
てけるのが最も有利だろうか？

ゴールポストの間隔は5.6mだあ。



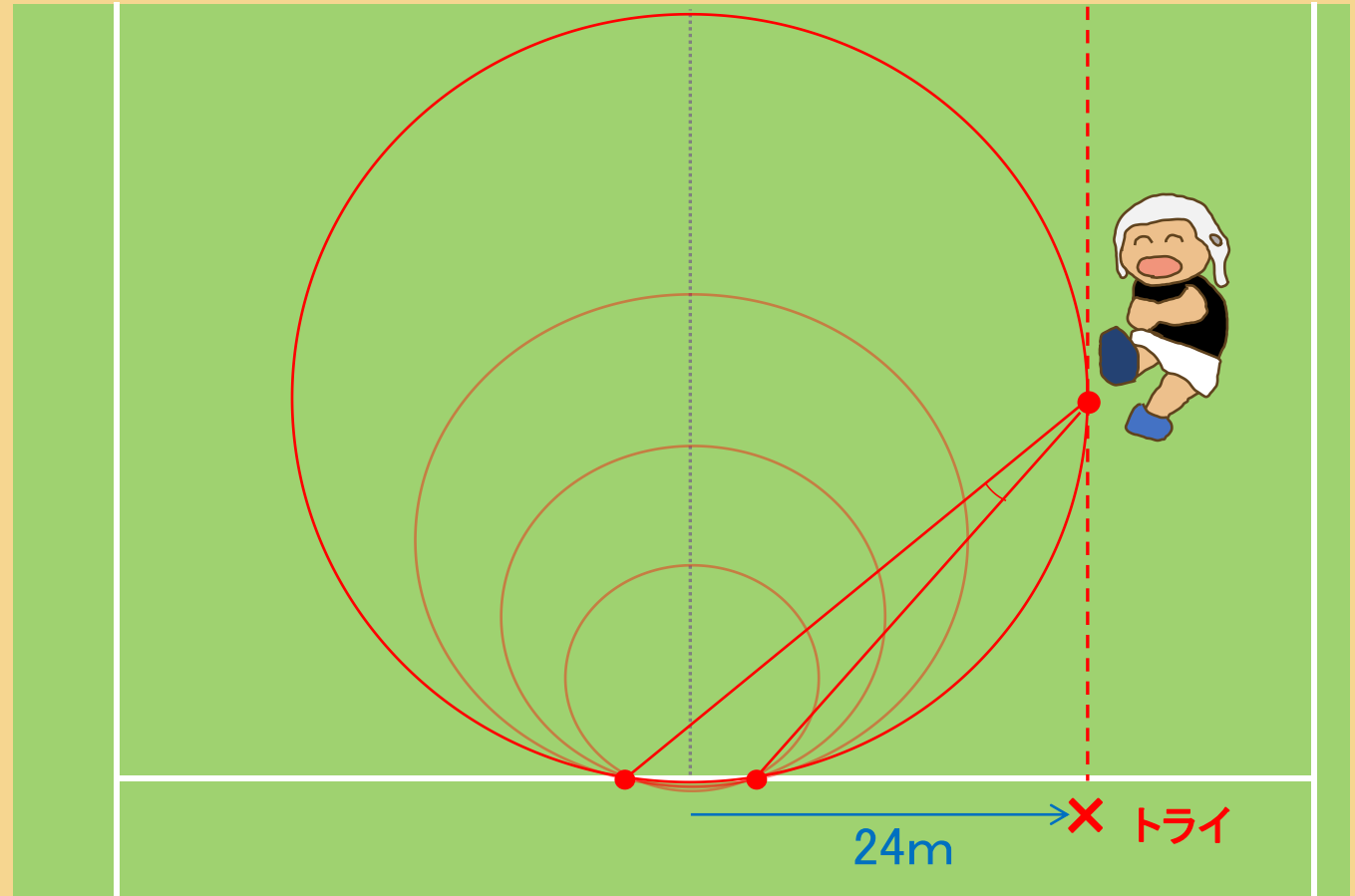
二郎のキック力は50mを超えるという。

さて、春田さん、考えた。

『キック力は問題なし。キック地点と2本のポ
ストがつくる角度が大きくなるのは・・・』

春田さん、二郎にこういった。

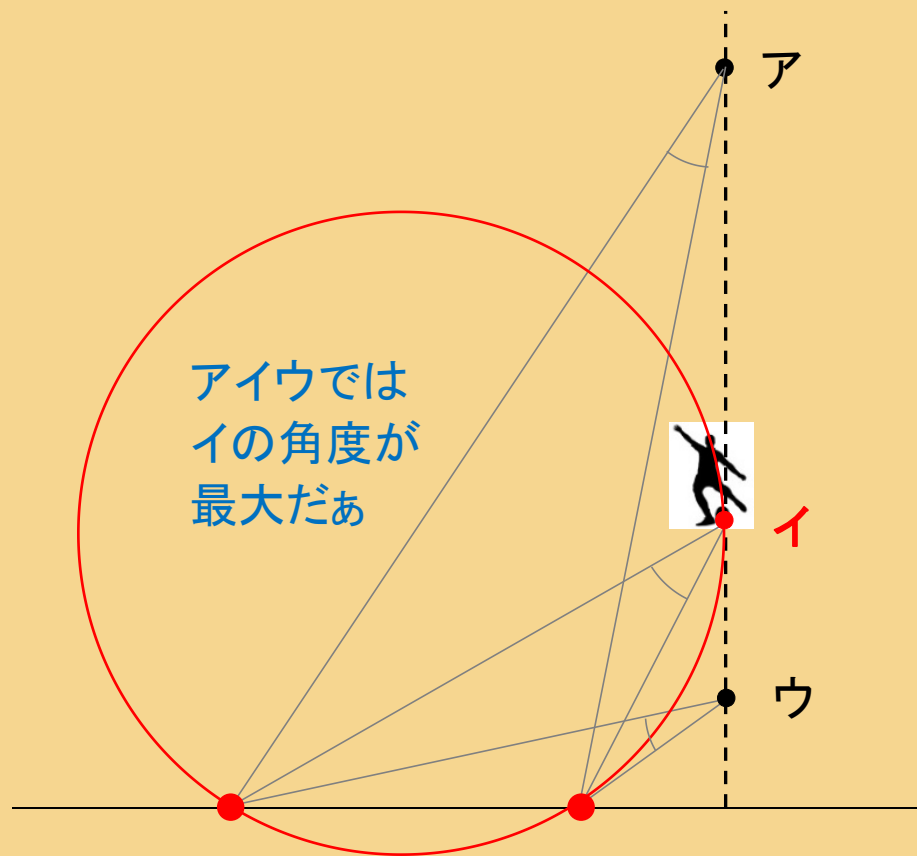
「絵のように、2本のポストの上のでっかい輪を置く。この輪をだんだん大きぐしていって、トライ点から真っすぐ引いた線に触れた点がベストポジションだあ」



「おれ、わかんねっけ、説明してけろ」

二郎は春田さんに聞いた。

春田さんの説明は、こういうことだった。



アイウでは
イの角度が
最大だあ

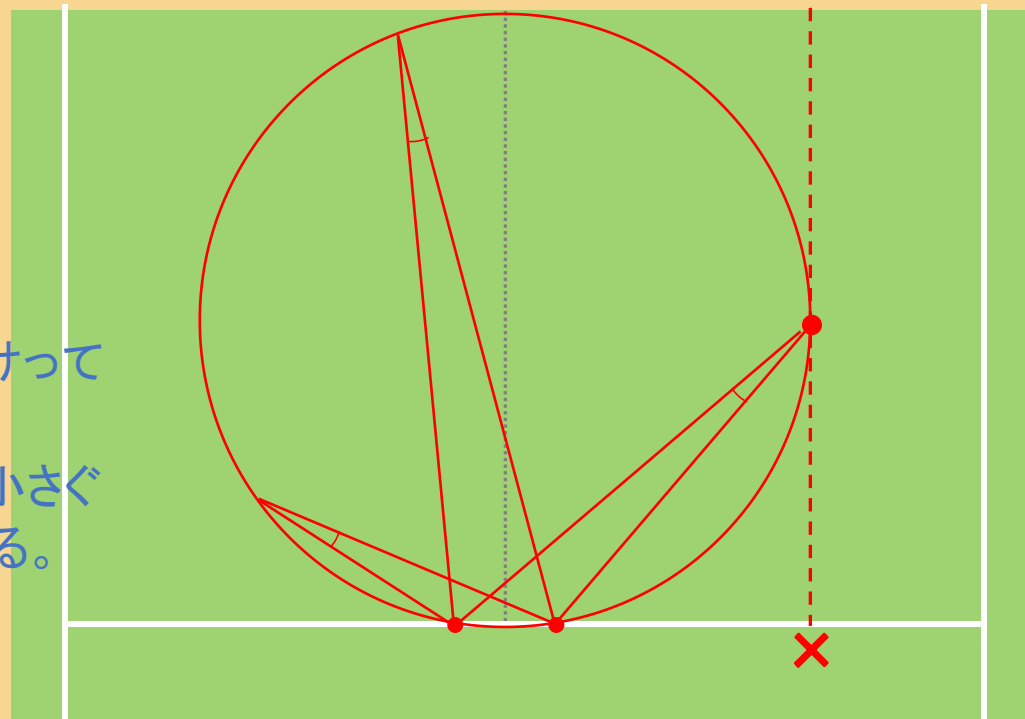
キック成功のポイントは、キック地点と2本のゴールポストがつくる角度だあ。これが最大になるところがベストポジションだあ。

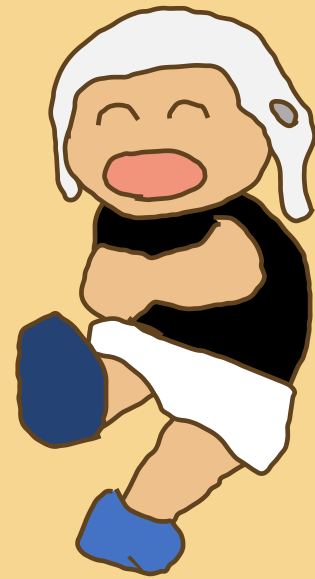
絵のように、点線上のどこからけるとき、この角度が最大になるのは2本のポストを通り点線に接する円の接点イにボールをおいたときだあ。

したっけ、大体ポスト中間からトライ地点までとおなじ24m下がったところにおけばいい。

この円周上のどの点からけっても角度は同じになる。

円の外側からなら角度は小さくなり、内側からなら大きくなる。





「また決まったあ」
「逆転だあ」